

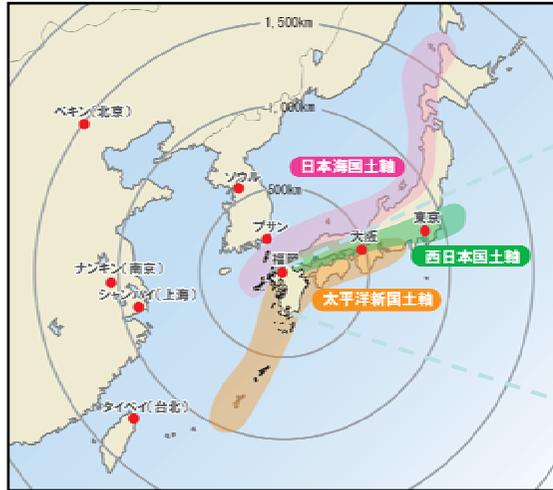
~ Kyushu Regional Land Sustainability Plan ~
九州圏広域地方計画キックオフレポート(素案)の概要



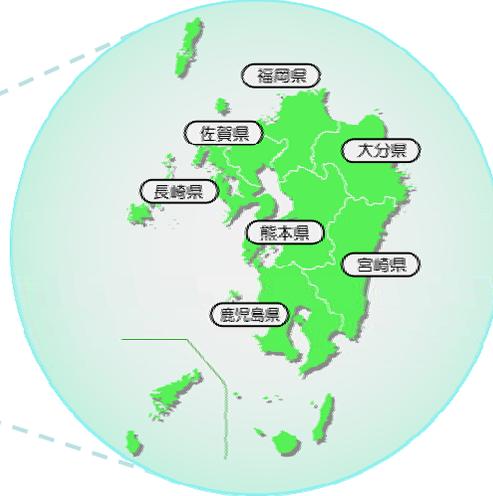
九州圏の位置づけと圏土構造の特徴

『東アジア、近接地域等にかかれた九州圏』

九州圏は我が国の中で東アジアに近い圏域に位置し、歴史的にも海外からの刺激を受けつつ発展した。3つの国土軸の結節点に位置し、中国圏・四国圏・沖縄等との結びつきも進展している。



福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の区域
欧州の中規模諸国の人口・経済と同規模
人口：1,340万人、域内総生産：約44兆円



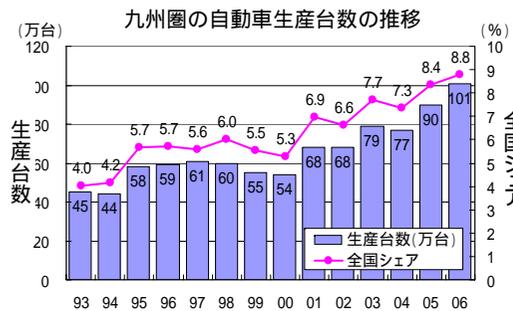
『基幹都市圏が適度に分散し 都市と自然が近接する圏土構造』

福岡・北九州の都市圏では、三大都市圏に次ぐ都市圏が形成され、県庁所在都市等の基幹都市圏が、東西南北に適度な間隔で分散している。また、離島・半島、中山間地域等が広く分布する。

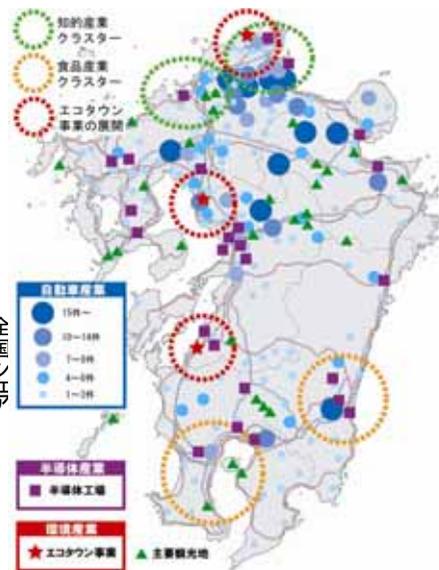


『九州圏全体を牽引し次世代を担う産業の集積』

九州圏は、我が国の食料・木材供給基地、一大観光地として重要な地位を占める。九州圏の持つ優位性から、自動車、半導体産業や環境・エネルギー産業等が集積している。



資料：九州経済産業局資料より作成



『離島を抱く外洋に囲まれ、急峻な山地と急流河川、豊かな森林・水資源に恵まれた自然環境』

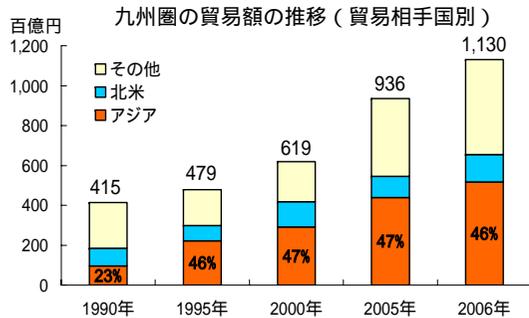
九州圏は、阿蘇、球磨川など、複雑急峻な地形や雄大な自然景観とともに、日本でも有数の美しさ、規模の自然や貴重な生態系を有する。また、温泉、棚田、歴史・文化等の豊かで個性ある地域資源を多く有する。



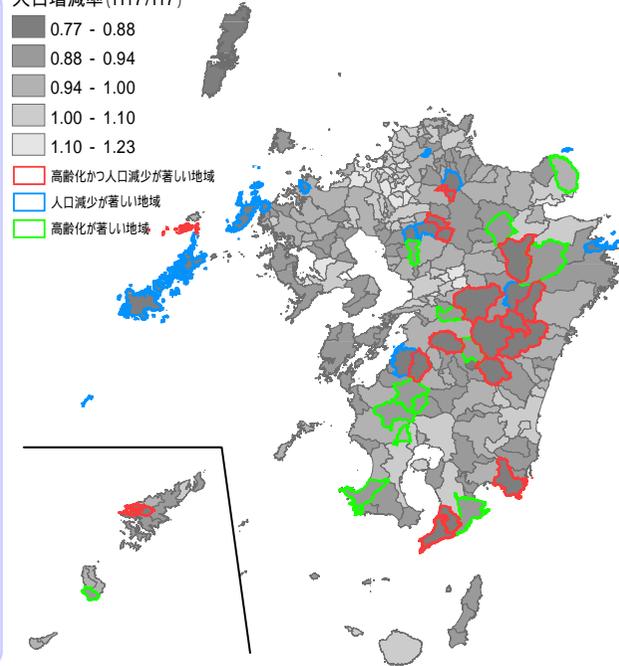
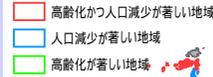
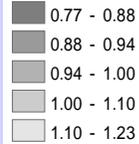
21世紀前半の経済社会情勢の転換と九州圏の課題

『グローバル化の進展と東アジアの経済発展』

貿易額は1990年からの10年間で約2倍、アジアの割合は1990年からの15年間で約2倍に上昇した。東アジアの経済発展により、東アジアに開かれた九州圏の発展のポテンシャルは飛躍的に高まっている。

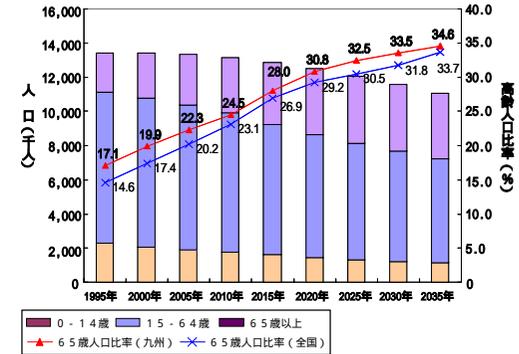


人口増減率 (H17/H7)



『本格的な人口減少・少子高齢化の進行と九州圏の自立的な発展』

九州圏の人口は、減少局面に入り、今後、本格的な人口減少・少子高齢化の進行が予測されている。このような中で、一定の社会的サービスと就業機会を確保し、豊かな自然の恵みを楽しむ新たな地域モデルの構築が求められている。

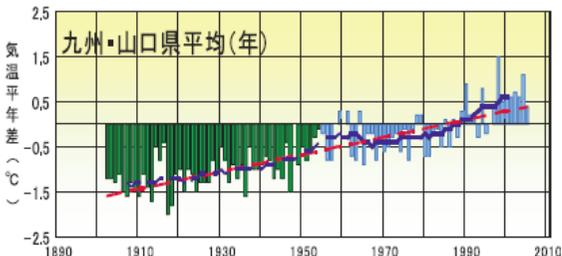


出典) H17まで国勢調査
以降「日本の都道府県別将来推計人口」/ 国立社会保障・人口問題研究所
年齢階級別人口は「平成19年5月推計値」、高齢化率は「平成19年5月推計値」
及び「平成14年3月推計値」を使用
出典) 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口」

『安全・安心、環境・景観等への関心の高まりと地球温暖化等への対応』

近年、地球温暖化による異常気象や世界規模の資源・エネルギー需要が増大する傾向にある。九州圏では、近年の気候変動等への柔軟な対応とともに、豊かな自然との共生や美しい九州圏の次世代への継承が課題となっている。

九州圏(山口県を含む)の年平均気温平年差の経年変化



16地点(福岡、熊本、大分、枕崎、飯塚、平戸、日田、阿久根、人吉、都城、佐世保、長崎、種子島、牛深、萩、下関)の平均。緑(1954年以前)は16地点が揃っていない。

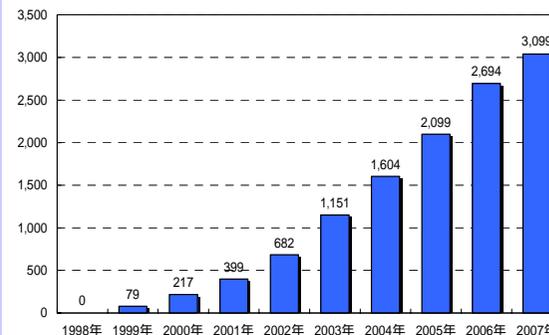
資料：『異常気象レポート九州・山口県版2006』
(福岡管区気象台 長崎海洋気象台)



『価値観、ライフスタイルの多様化と新たな活動主体の成長』

価値観、ライフスタイルの多様化が進展するとともに、行政・住民・企業等が連携し活動する新たな活動主体が成長しつつある。選択可能性が高い社会を創造するとともに、地域の活力低下などの課題解決に向けた地域づくりや新たな活動主体の育成が必要となっている。

(団体数) NPO認証数の推移(九州圏)



資料：内閣府HPより作成



新たな九州像（2つの基本理念と3つの九州像）

基本理念

東アジアとともに発展し、我が国及び世界の人々が訪れ、暮らし、働き、投資したい圏域として活力と魅力あふれる九州圏となっていく
豊かな自然と魅力ある都市の利便性を享受できる暮らしと多様な価値観に応じて多彩な生活や就業を実現する九州圏となっていく

東アジアの成長と連動し自立的に発展する九州圏の形成

- ・「東アジアの中の九州圏」との視点に立って、経済、文化等の多面的な交流を積極的に推進し、東アジアとともに新たな発展を目指す
- ・都市と産業の成長のエンジンを強化し、国際競争力を高めることなどにより、東アジアの成長を取り込みながら、中国圏・四国圏・沖縄等との結びつきを強化し、自立的な発展を実現していく



豊かな自然と都市的利便性を享受し多様な活躍の場を創出する九州圏の形成

- ・多様な地域が交流・連携することを通じて、どこに住んでいても、一定の社会的サービスや就労の機会、豊かな自然を容易に享受でき、各地域が選択可能性の高い多彩なライフスタイルが可能となる地域社会を創造していく
- ・新しい産業分野の発展を促進することにより、九州圏として安定した経済成長を図り、若年層にも魅力ある活躍の場を創造していく

安全・安心で美しく誇りが持てる九州圏の形成

- ・災害等のリスクに対する備えや日々の暮らしの安全・安心を確保し、誰もが生活のゆとりと潤いを実感できる生活環境を形成していく
- ・豊かな自然や美しい景観、良好な社会資本等のストック等を良好な状態で次世代に継承していくとともに、地域の伝統や文化に誇りを持ち、生きがいを感じられるような魅力ある地域を創造していく

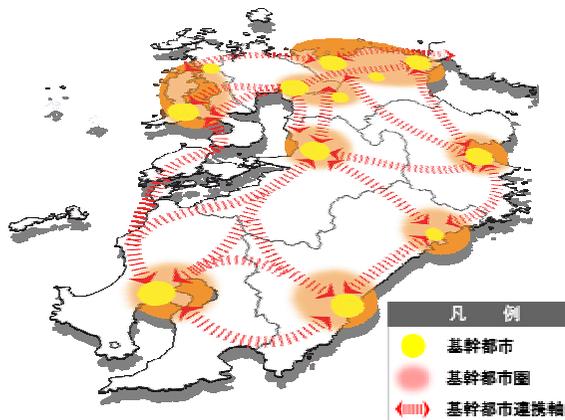
戦略展開の基本的な考え方（三層の自立圏の創造）

・九州圏の一体的な発展を促すとともに、各地域が高次都市機能から生活支援機能までの一定の社会的サービスや就労機会を確保でき、豊かな生活環境を実現するための圏域の単位として、**三層からなる自立的な圏域（三層の自立圏）を創造**

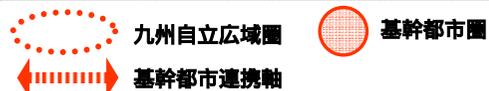
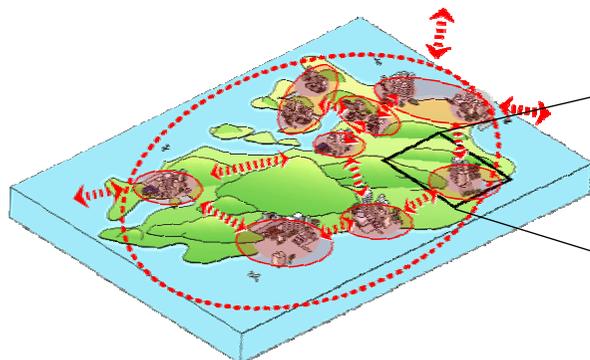
九州自立広域圏

・九州圏が個性ある国際交流・連携、協力を行うための一定のまとまりある圏域として九州全体で一体的な発展を図る自立圏域

基幹都市圏と基幹都市連携軸（イメージ）



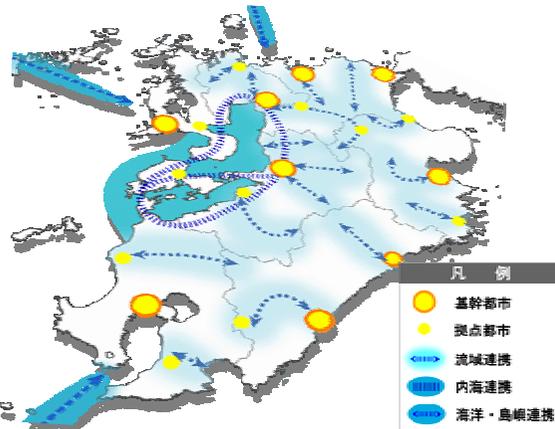
九州自立広域圏の自立の単位（イメージ）



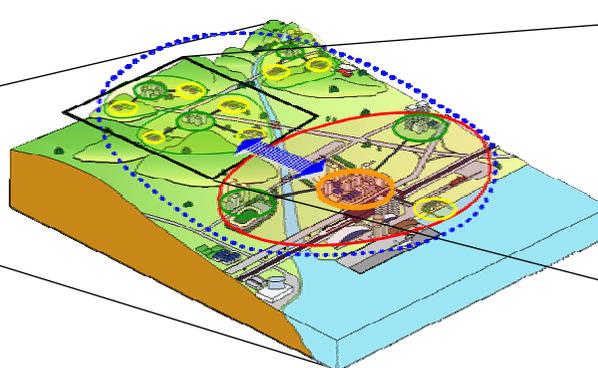
都市自然交流圏

・適度に分散した基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流・連携による豊かな生活環境を実現するための自立圏域

基幹・拠点都市圏と都市自然交流軸（イメージ）



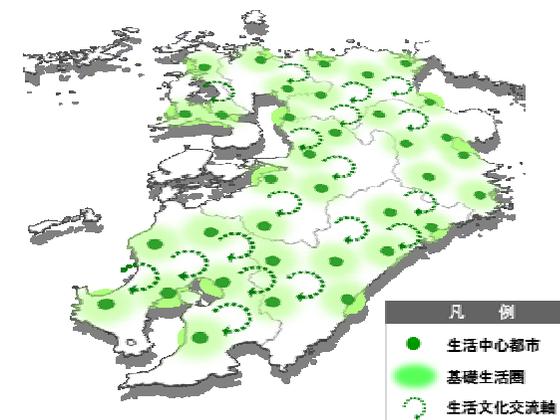
都市自然交流圏の自立の単位（イメージ）



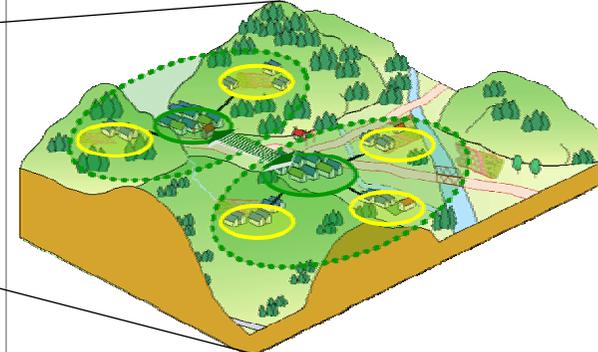
基礎生活圈

・人口減少下であっても生活関連サービスを維持し、地域社会の機能や活力を確保するための自立圏域

生活中心都市と生活文化交流軸（イメージ）



基礎生活圈の自立の単位（イメージ）



1 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成

① 東アジアと我が国の結節点として個性と魅力ある国際交流フロンティアの形成

地理的近接性等を背景として、東アジアとの緊密な交流・連携や東アジア規模の生産ネットワークの構築が進展している。

経済、技術・学術・文化等の多岐にわたる関係の深化を図り、東アジアと我が国を結ぶ個性的で魅力ある国際交流フロンティアを形成していく。



多様な国際交流

- ・イベント開催等による文化・芸術・学術交流

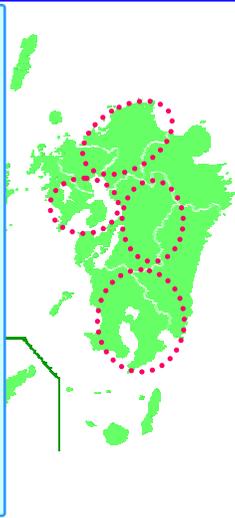
アジアマンス(福岡市)

- ・交流・連携機能の充実

九州国立博物館(太宰府市)

- ・経済・技術交流の促進

環黄海経済・技術交流会議等



アジア規模の知的拠点

北部九州学術研究都市整備構想

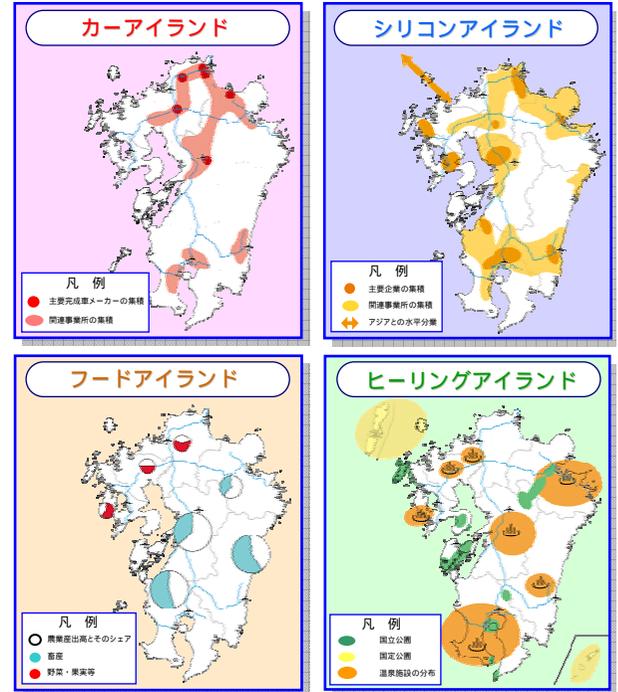
長崎国際海洋総合研究ゾーン

熊本バイオフォレスト構想

国際火山総合ネットワーク

② グローバル化に対応した成長型・牽引型産業アイランドの形成

現存する成長型・牽引型産業について、九州圏全体の発展を牽引する産業アイランドとして戦略的な展開を図る。



③ 新たな発展を実現する東アジア国際交流軸と広域ブロック連携軸の形成

東アジアの主要都市、他の広域ブロックを有機的に連結する交流軸を形成する。

東アジア規模の交流・連携を支援し、九州圏が自立的に発展していくため、東アジアへのゲートウェイ機能を強化する。



ゲートウェイ機能の充実

- ・空港、港湾の基盤強化
- ・アクセス環境の整備

交流・連携の支援

- ・高速交通体系の整備
- ・高速情報通信基盤、情報発信機能の強化

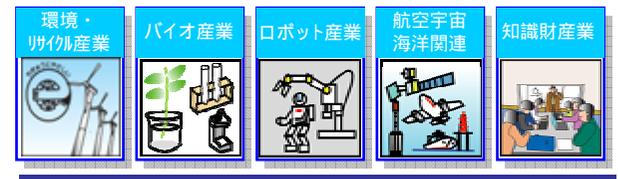
日常的な国際交流・連携の推進

- ・東アジア1日圏の拡大
- ・日帰りビジネス圏・貨物翌日配達圏の拡大
- ・国際的な高速情報通信基盤と情報発信機能の強化

中国圏・四国圏との交流・連携の推進

- ・高速交通体系の形成に向けた整備

今後成長が期待される産業分野を育成し、次世代の産業アイランドの形成を促進する。



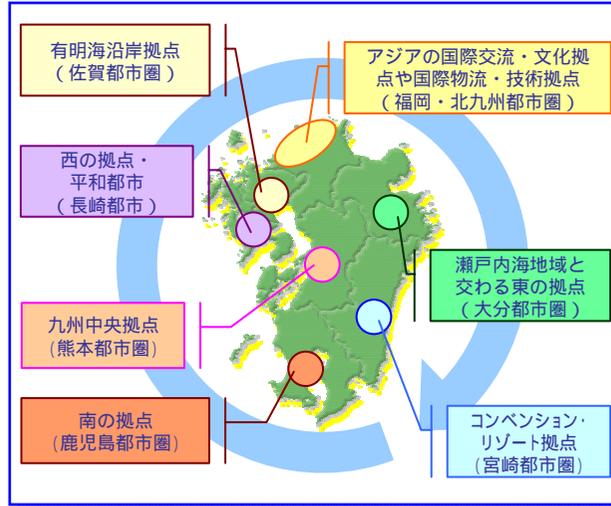
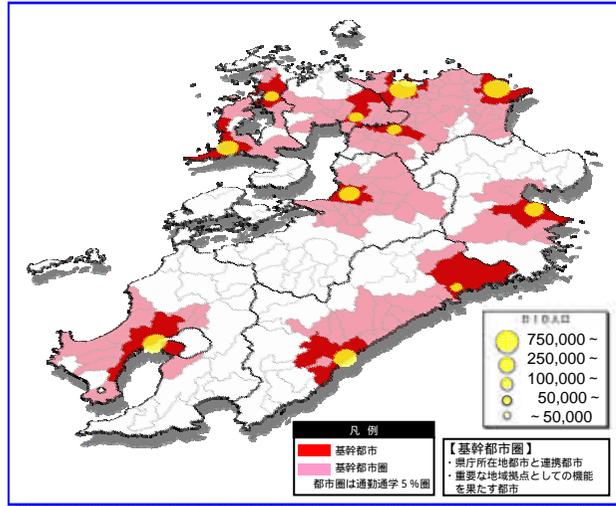
九州圏の持続的な発展の実現

2 個性的で魅力ある基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展

1 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成

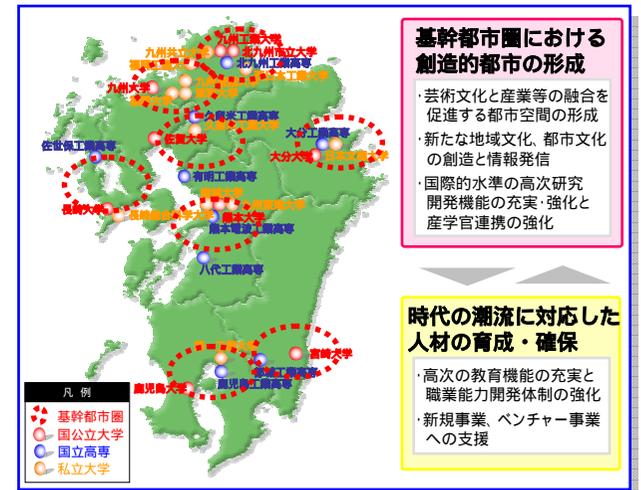
高次都市機能が集積する基幹都市圏の適度な分散を活かし、多極型圏土構造を形成する。

相互の機能分担と連携を促めながら、各々の都市圏の規模や特性に応じた特色ある拠点を形成する。



2 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成

芸術文化、知識集約等の融合による創造的都市の形成を図り、九州圏に必要な多彩な人材を育成する。

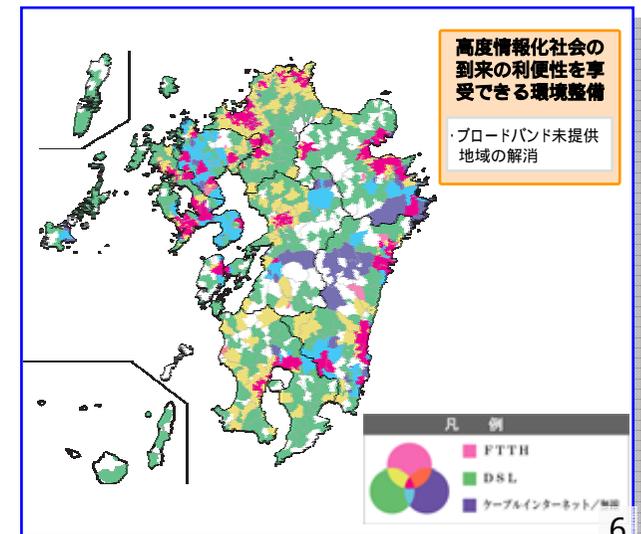
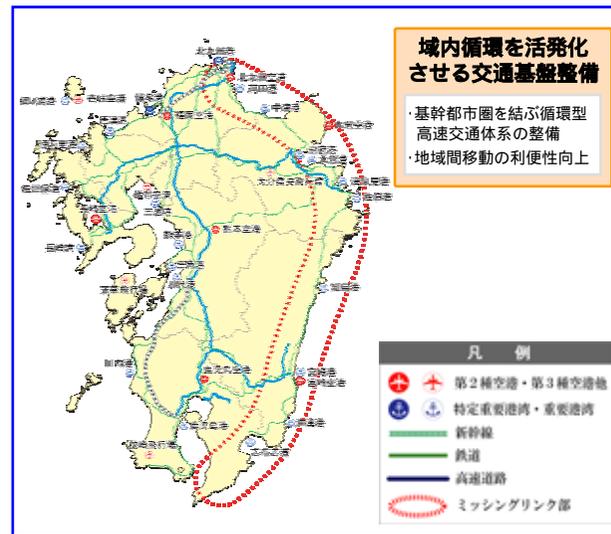
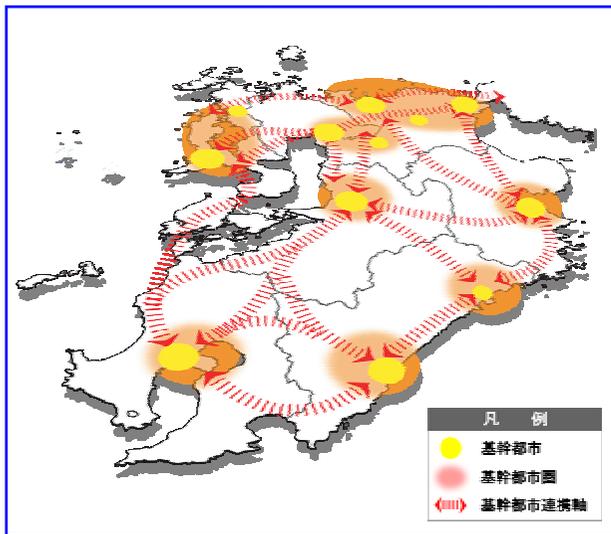


3 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成

基幹都市圏の高次都市機能を広範囲で享受でき、新たな発展を促す基幹都市連携軸を形成する。

九州圏の域内循環を活性化させる高速交通体系の形成に向けた整備を進める。

都市圏間の交流・連携を支援し、九州圏の一体的発展を促すための情報通信基盤の整備を進める。



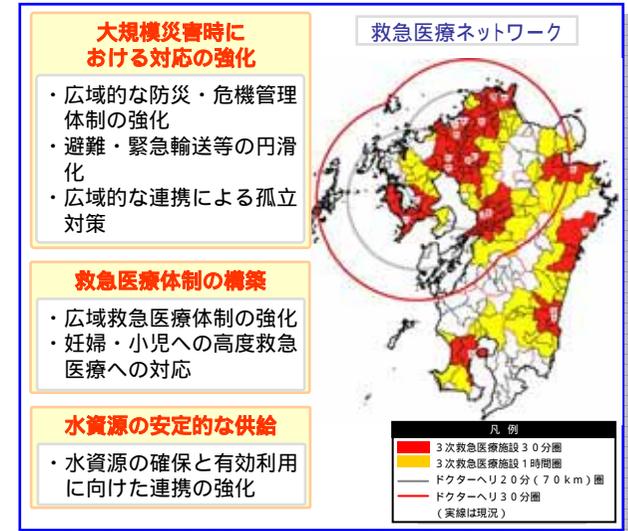
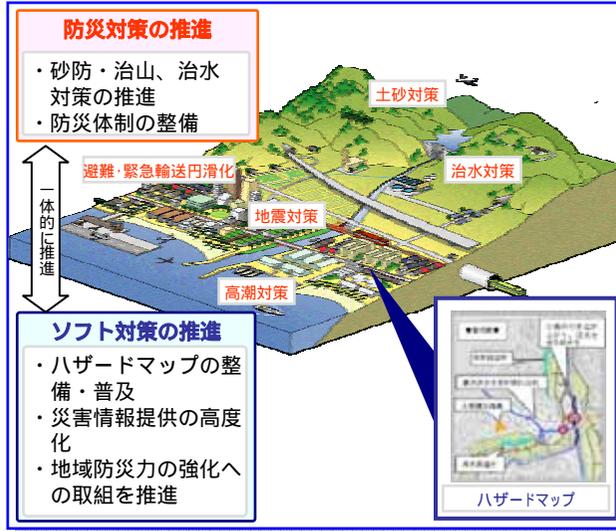
3 災害・環境ハザード最前線における美しく安全・安心な九州圏の形成

1 九州圏の総合力発揮による安全で安心な暮らしの実現

台風常襲地帯、脆弱な土壤であるとともに、異常気象等による災害への影響を受ける我が国の最前線に位置する。

減災の視点も取り入れ、ハード・ソフト対策が一体となった災害に強い地域づくりを進める。

安全・安心な暮らしを実現するため、広域的な連携体制を形成していく。

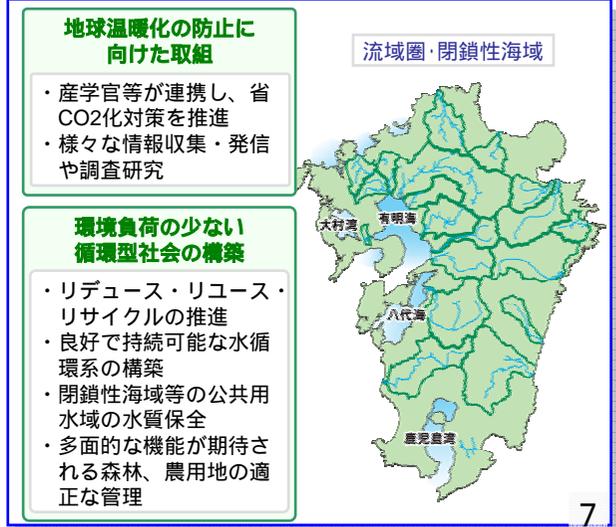
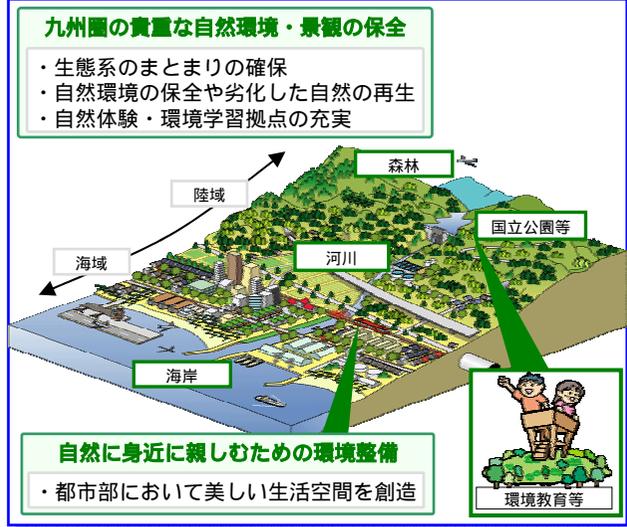
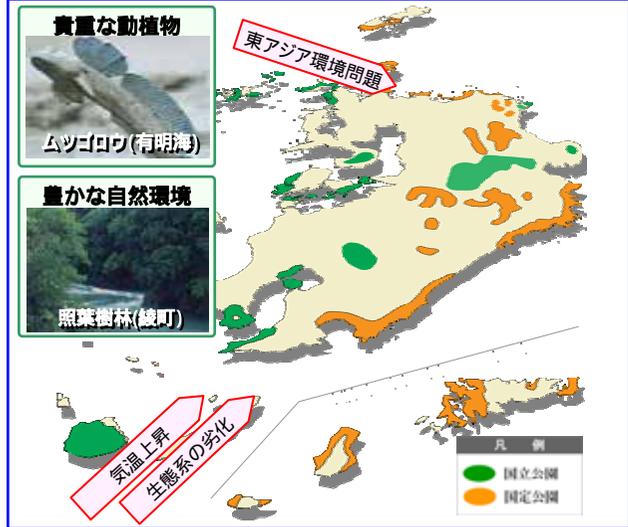


2 我が国を先導する美しい環境共生アイランドの形成

豊かな自然が多い一方、東アジアとの環境問題や地球温暖化による環境への影響を受ける我が国の最前線に位置する。

九州圏に数多く存在する多様で美しい自然環境を、保全再生し、健全な状態で次世代に継承していく。

我が国の循環型社会の構築を先導しつつ、地球温暖化の防止対策を進め世界に貢献していく。



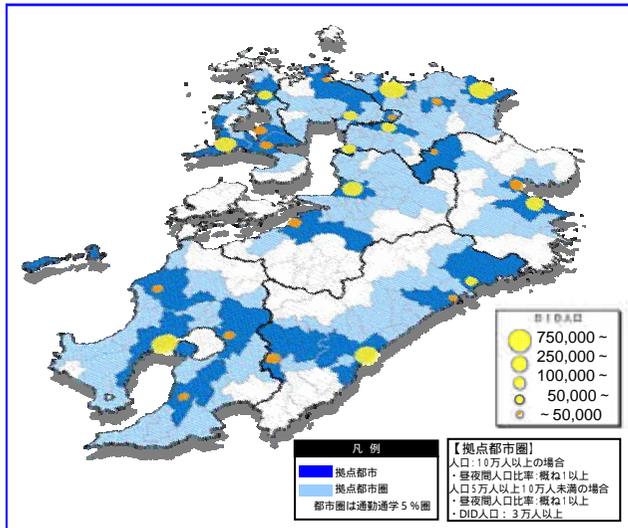
4 基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流・連携による都市自然交流圏の形成

① 広域的な都市的利便性を実現する基幹・拠点都市圏を核とした都市自然交流圏の形成

基幹・拠点都市圏の分散した都市機能と多自然居住地域が交流・連携し、一体となる都市自然交流圏を形成していく。

都市機能の充実・強化を図り、広域的な都市的利便性を実現する都市圏の形成を図る。

コンパクトで賑わいあふれる集約型都市構造への転換や良好な景観の形成等による快適で住みやすい居住空間の形成を進める。



高次都市機能の集積・充実・強化	
<p>3次緊急医療施設等</p> <p>高次医療 / 福祉施設</p>	<p>コンベンションセンター等</p> <p>国際交流施設</p>
<p>博物館等</p> <p>文化施設</p>	<p>大規模小売店等</p> <p>商業 / 金融施設</p>
<p>大学、研究開発施設等</p> <p>高次教育施設</p>	<p>遊園地等</p> <p>余暇施設</p>

コンパクトで賑わいあふれる集約型都市構造への転換

- 市街地再生支援
- 中心市街地活性化

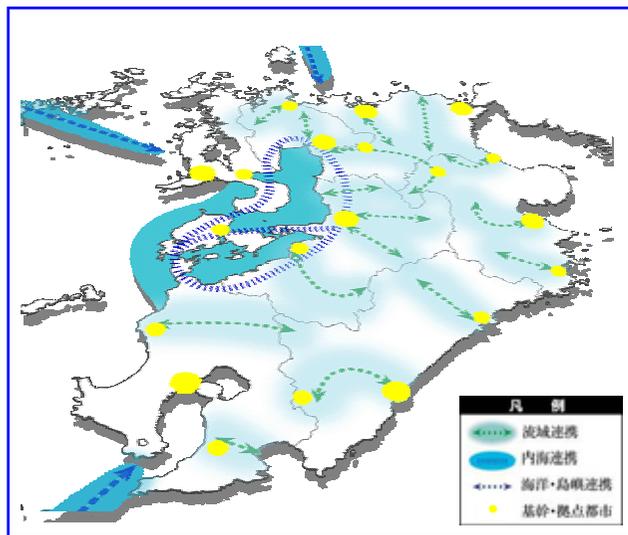
快適で魅力的な都市空間の形成

- 基幹都市圏における良好な市街地の形成
- 都市内交通の円滑化の促進
- 住みやすい居住空間の形成

② 水・緑・食・安全等の互恵関係を形成する都市自然交流軸の形成

基幹・拠点都市圏と多自然居住地域を広域的に連結する都市自然交流軸の形成を促進する。

水・緑・食・文化・安全等の互恵関係を形成するため、流域、沿岸海域、海洋・島嶼等を通じ広域的に連結する。都市自然交流圏の循環を活性化させる高規格の交通体系や航路・空路等の形成に向けた整備を進めていく。



基幹・拠点都市	都市自然交流圏の循環の活性化	多自然居住地域等
<ul style="list-style-type: none"> 高次都市機能 生活サービス 人材・活力 	<ul style="list-style-type: none"> 高規格交通体系、航路・空路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 水源かん養 伝統文化の継承 国土の保全

都市自然交流軸

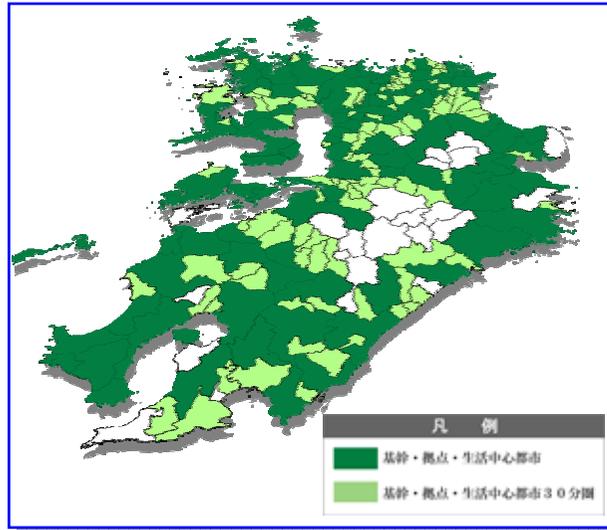
基幹・拠点都市圏と多自然居住地域間において水・緑・食・文化・安全等の互恵関係を形成

5 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成

1 生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成

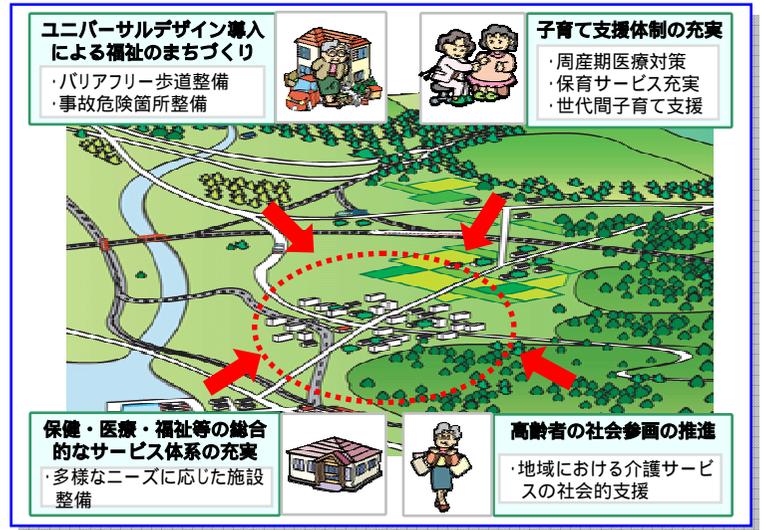
基礎生活圏における生活支援機能の維持・向上を図るとともに、持続可能で暮らしやすい生活圏を形成する。

基礎的な一定レベルの生活支援機能については、多自然居住地域内で享受できるようにする。



2 全ての世代が安心とゆとりを実感できる生活環境の形成

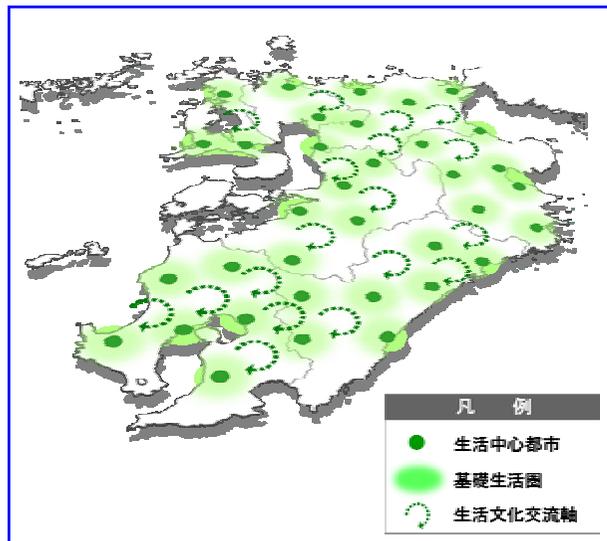
少子高齢化等に対応するため、子どもから高齢者まで全ての世代が安心とゆとりを実感できる生活環境の形成を図る。



4 生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成

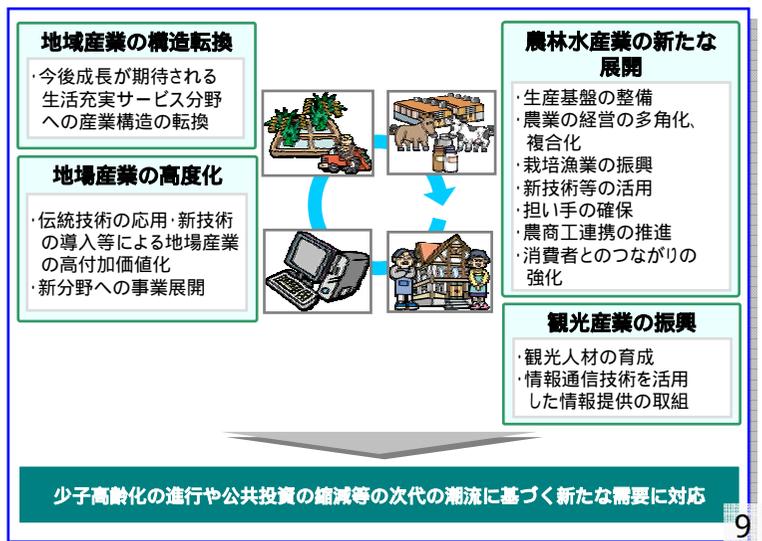
生活支援機能の分布状況や隣接地域の連携強化により、生活文化交流軸を形成していく。

隣接地域間の機能分担や魅力ある交流・連携地域を創造するための基盤整備を図っていく。



3 生活活動に密着した地域産業の新たな展開

農林水産業や観光産業など生活活動に密着した地域産業について新たな展開を図る。



6 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の確保

1 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開による豊かな定住環境の形成

九州山地等に広く分布する中山間地域等では、豊かな農林業、観光産業等が営まれる一方、人口減少・高齢化、農林業等の担い手不足、社会的サービスの低下等に直面している。

離島・半島、中山間地域等の地理的制約の厳しい地域における都市機能と生活支援機能、就業機会等の一定の基礎条件の確保を図る。

農林業等の生産活動

通瀬橋(熊本県山都町)

浜野浦棚田(佐賀県玄海町)

豊かな観光資源等

開闢岳(薩摩半島)

雲仙普賢岳(島原半島)

凡例
 中山間地域
 離島・半島地域
 人口が概ね100万人以上の都市
 人口が概ね30万人以上の都市
 人口が概ね10万人以上の都市

都市部への交通アクセス維持

生活道路、公共交通の確保

就業機会の確保

地域特性に応じた産業振興

中山間地域
離島地域
半島地域

社会的サービスの維持・向上

医療・福祉・教育等の機能の維持・向上

情報通信基盤整備の整備・活用

ブロードバンド環境の整備等

2 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

離島地域では、領海の確保や島特有の自然、貴重な歴史・文化、農林水産物の生産など、重要な役割を果たす一方で、若年層が流出するなど、地域の活力低下が顕在化している。

離島地域については、海洋性気候等に恵まれた自然環境等を活かした産業振興、島内で一定の社会的サービスの維持を可能とする豊かな定住環境を形成していく。

亜熱帯等の温暖な気候

奄美大島(鹿児島県奄美市)

領海の保全

対馬(長崎県対馬市)

— 補助航路
 — 補助航路以外
 実際のスケールと異なる

島特有の自然環境

縄文杉(鹿児島県屋久町)

複雑な海岸線と群島

九十九島(長崎県佐世保市)

都市部への定期的な交通アクセスの確保

離島空路、航路の充実

就業機会の確保

魅力ある産業振興や観光振興
 「健康と癒し」等のニーズに対応した魅力ある地域づくり

環海性

狭小性 隔絶性

離島地域

国境・外洋離島等の対応

領海等の海洋資源の保全等の重要な役割を勘案した対応

広域的な対応等による定住条件の改善

情報通信技術を活用した島内の情報共有
 情報通信技術の遠隔医療や産業等への利活用
 広域的な観点を含めた静脈物流の構築

7 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

① 恵まれた地域資源を最大限に活用した先導的な地域創造アイランドの形成

豊富な地域資源等を活用した地域づくりにおける先導的な事例を多数有する。人口減少等が進行する中で、地域活力の維持向上に結びついている事例もある。

恵まれた地域資源を最大限に活用した地域づくりにより、自然、文化・歴史等が融合する個性豊かな地域創造アイランドを形成を促進する。

自然資源の保全・活用

- ・世界一の阿蘇カルデラを活用した地域づくり

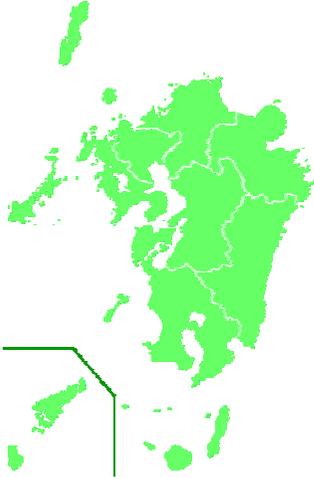


熊本県阿蘇市

- ・歩いて楽しい生活型観光地づくり



大分県由布市



交流・観光による活性化

- ・水辺空間を活かした水郷のまちづくり



福岡県柳川市

- ・昭和のまち並みを活用したまちづくり



大分県豊後高田市

<p>豊かな自然環境 美しい景観</p>  <p>つづら畑田 (福岡県浮羽市)</p>	<p>個性と魅力ある 歴史・文化</p>  <p>唐津くわち (佐賀県唐津市)</p>	<p>地域づくりに関する 先導的な取組が進展</p>  <p>熊本国際建築展 (熊本県)</p>
<p>個性と魅力あふれる 地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験・交流の場としての自然活用 等 	<p>歴史的風土を活用した 地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代遺跡、文化・近代化遺産、伝統芸能等の活用 等 	<p>新しい地域文化の創造 と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽・彫刻等の芸術文化の多様な創造活動の推進 等
<p>地域アイデンティティ の醸成</p>	<p>個性と魅力ある地域 の創造</p>	<p>交流人口の増大 所得機会の確保</p>

② 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

多様な主体による創意と工夫に基づく取組が重要な役割を果たすと期待されている。住民が主体となった地域づくりの先駆的な取組が行われている。

多様な主体の参加を基軸とした地域づくりを積極的に展開していく。社会的サービス等の行政・民間の横断的分野へ「新たな公」の取組を推進する。

多様な主体の地域づくり

- ・体験観光の人的ネットワークの形成

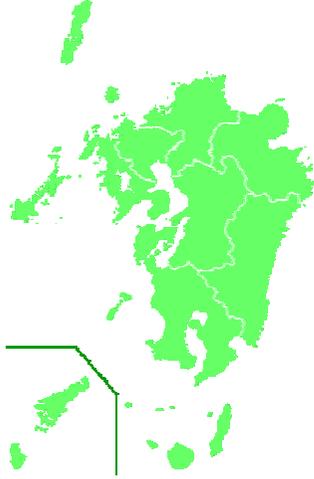


長崎県松浦市

- ・住民主体の観光地づくり(長崎さるく)



長崎県長崎市



志ある主体の取組

- ・日本風景街道の形成に向けた取組



宮崎県日南海岸

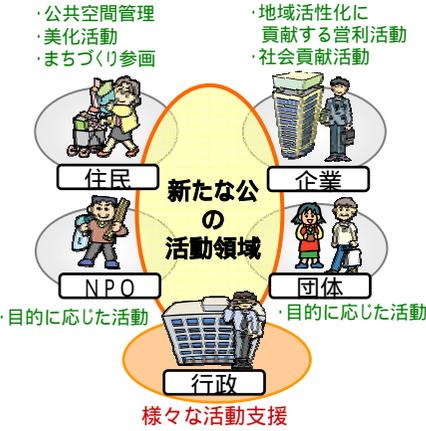
- ・住民参加による自主財源創出の地域づくり



鹿児島県南郷市

新たな公による地域づくりの推進

- ・公共空間管理
・美化活動
・まちづくり参画
- ・地域活性化に貢献する営利活動
・社会貢献活動



新たな公の活動領域

目的に応じた活動

様々な活動支援

多様な主体による地域づくりの推進

- 地域住民、NPO・ボランティア団体
自治組織、企業等
- ・創意と工夫に基づく取組の推進
- ・地域を主導する人材の育成・確保
- ・地域の資金が地域に再投資される「資金の小さな循環」の形成
- 持続可能な地域づくりの実現